

『十一人の賊軍』の監督、新潟出身のキャストに聞く 新潟の魅力。

作品の中でどのように新潟の魅力が表現されているのか、監督と新潟出身のキャストに新潟の素晴らしさを語ってもらいました。



白石 和彌 監督

この映画は、戊辰戦争時の新発田を舞台に、11人のアンチヒーローたちが命を削る戦いを繰り広げるエンターテインメント時代劇です。ロケハンで、新潟は明治や大正時代の物語のロケに使えそうな、歴史的建造物が全国の中でも多いことに気付きました。撮影に町の人も協力的。チャンスがあればまた新潟で撮影したいので、古い建物をこの先も大事に保存していただきたいですね。撮影時は、新潟のおいしい日本酒をたくさん飲みました。老若男女が楽しめる作品です。再現した幕末の新潟と新発田の風景も楽しみながらご覧ください。

PROFILE

1974年12月17日生まれ、北海道出身。1995年に中村幻児監督主催の映像塾に参加したのち、若松孝二監督に師事。助監督時代を経て、ノンフィクションベストセラー小説を実写化した映画『凶悪』(13)で第37回日本アカデミー賞優秀作品賞と監督賞ほか各映画賞を総なめした。さらに、2017年に映画『彼女がその名を知らない鳥たち』でブルーリボン賞監督賞を受賞すると、翌年も『孤狼の血』を含む3作品で同賞を受賞。近年の主な監督作は、映画『孤狼の血 LEVEL2』(21)、『死刑にいたる病』(22)、『墓盤斬り』(24年5月)などがある。

小柳 亮太 [新潟市北区出身]

as 辻斬 罪状:辻斬り

大好きな新潟が舞台となったこの作品に携わることができ、一生の思い出になりました。クランクアップした後に市島邸の撮影を見学し、監督やキャストの方々と新潟で食事をして楽しい一夜を過ごすことができました。時代の移り行く中、十一人が命をかけて戦った生き様をぜひ、劇場でご覧ください。そして、豊かな自然、美味しいグルメ、温泉などが楽しめる新潟にも旅行に来てもらえると嬉しいです。

PROFILE

1993年9月22日生まれ、新潟県出身。東京農業大学在学時に、全日本相撲選手権でベスト8入りし、大相撲の三段目付け出し資格を取得。その後、時津風部屋所属の四股名「豊山亮太」として活躍した。2016年には幕下優勝を果たし、通算幕内26場所に出場して最高位は西前頭筆頭。引退後は、元大相撲力士のセカンドキャリアの場を創出するなど多岐にわたり活躍。本作で俳優デビューを飾り、今後の活躍が期待される。



木竜 麻生 [新発田市出身]

as 新発田藩家老・溝口内匠の娘・加奈

生まれ育った新発田が舞台の時代劇に参加できて本当にうれしいです。地元は私にとってリラックスできる場所。今も頻りに帰省しています。私のお勧めは、ロケ撮影もした新発田城。桜の時期は本当に美しいです。新潟は空気もきれいで、おいしいものがたくさんあります。県内外の方に、映画のロケ地巡りと食い倒れの旅をしてほしいですね。

PROFILE

1994年7月11日生まれ、新潟県出身。2014年に「まほろ駅前狂騒曲」で映画デビュー。2018年に「菊とギロチン」「鈴木家の嘘」で、毎日映画コンクールスポニチグランプリ新人賞やキネマ旬報・ベスト・テン新人女優賞など数々の映画新人賞を受賞する。主な映画出演作品に「ヘルドッグス」(22)「わたし達はおとな」(22)「福田村事件」(23)「熱のあとに」(24)などがある。



にいがたロケ地と観光地 十一か所 周遊キャンペーン 2024.11.1(FRI) > 2025.1.31(FRI)



新潟・新発田舞台
覚悟を魅せる

にいがたロケ地と観光地 十一か所 周遊キャンペーン 2024.11.1(FRI) > 2025.1.31(FRI)

【スタンプ欄】新潟県内のロケ地と観光施設を訪れてスタンプを集めよう!

ロケ地と観光施設を巡ってスタンプラリーに参加しよう!
キャンペーンに参加している11施設をめぐるスタンプラリーを開催します。
県内に点在する11か所のロケ地や観光施設に設置されている専用スタンプを集めてご応募すると、抽選で素敵な賞品が当たります。



- 対象施設に設置してあるキャンペーンのチラシを手に入れる
- キャンペーン期間内に対象施設に行き、専用スタンプを押す
- スタンプが集まったらスタンプを押した面を写真に撮り、右記の2次元コードよりご応募

当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



スタンプ 11個
A賞 月岡温泉宿泊券 20,000円分 2名様

スタンプ 5個
B賞 新潟のお土産セット 5名様

スタンプ 3個
C賞 映画オリジナルグッズセット(非売品) 11名様

お問い合わせ 公益社団法人 新潟県観光協会
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1(新潟県庁11階)
TEL: 025-283-1188 FAX: 025-283-4345

新潟県の観光情報 niigata にいがた観光ナビ
https://niigata-kankou.or.jp/

制作:新潟県フィルムコミッション協議会



スタンプ 11個
A賞 月岡温泉宿泊券 20,000円分 2名様

スタンプ 5個
B賞 新潟のお土産セット 5名様

スタンプ 3個
C賞 映画オリジナルグッズセット(非売品) 11名様

詳しくは裏面をご覧ください。

十一人の賊軍 11.1(FRI) 公開

じゅういちにんのぞくぐん



【十一人の賊軍 公式 HP】
https://11zokugun.com/

1868年、江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜を擁する旧幕府軍と、薩摩藩・長州藩を中心とした新政府軍(官軍)との間で勃発した戊辰戦争。その激動の時期、新政府軍に対抗し奥羽越前藩同盟に加わっていた新発田藩(現在の新潟県新発田市)で起きた裏切りの逸話を元としている。劇中では、あらゆる罪で捕らえられた罪人たちが新発田藩の命運を賭けた重要な砦の護衛を命じられ、壮絶な戦いへと身を投じていく姿が描かれている。

にいがたロケ地と観光地 周遊キャンペーン

十一か所



12/26まで ロケ地 一 新発田城

※新発田城は、12月26日(木)まで公開(ただし、降雪等により早く閉館する場合があります。)閉館後は、歴史図書館にスタンプの設置場所が変わります。

別名「葛蒲城」と呼ばれる、「表門」「旧二の丸櫓」は当時のままの姿で残され、国の重要文化財に指定されており、天守的存在であった「三階櫓」のほか「辰巳櫓」も復元され、日本100名城のひとつに選定。劇中でも新発田城の門として登場する。エキストラ70名ほどが扮装し、隊列を組んで城門をくぐるようすは迫力あり。
●住所/新発田市大手町6丁目
●公開/11月30日(土)まで16時30分開門。12月1日(日)~26日(木)まで16時開門●入場無料

1/4から 新発田市立歴史図書館

新発田藩領と新発田市域を対象として、歴史資料や郷土資料を収集、展示を行っている。本作の時代背景である北越戊辰戦争の情勢を辿る資料展示は12月1日(日)まで。
●住所/新発田市中心4-11-27●電話/0254-24-2100
●開館時間/9時~17時まで●休館日/毎週月曜日

ロケ地 二 市島邸

江戸時代初期から続いてきた本県でも有数の大地主の一つ、明治初期造営の600余坪を有する風格ある大邸宅、水池を配した8000余坪の広大な回遊式庭園。今となっては珍しくなりましたが、ゆがみガラスの窓も見ることができる。邸内の茶室が斉藤主計を足止める旅籠として登場する。
●住所/新発田市天王1563●電話/0254-32-2555●開館時間/4月1日~11月30日 9時~17時(最終受付16時30分) 12月1日~3月31日 9時~16時30分(最終受付16時)●定休日/水曜日、年末年始●入館料/大人630円



四 道の駅加治川

道の駅加治川は2022年に「加治川ピクニック」をコンセプトにリニューアルオープン致しました。施設内には地元農家が育てた農産物を購入できる直売所・オリジナル商品を取り揃えた物産販売所も充実しております。また、サクラカフェ・サクラバーカリーでは地元の食材を活かしたメニューや焼き立てパンが楽しめます。
●住所/新潟県新発田市横岡1147●電話/0254-20-7393●営業時間/農産物直売所・物産販売所 9時~18時、サクラカフェ 9時~17時、サクラバーカリー 9時~15時●休館日/第三火曜日(サクラバーカリーは毎週月曜日)

五 月岡ブルワリー

日本を代表する温泉地であり「歩きたくない温泉街」で親しまれる新潟県・月岡温泉。エメラルドグリーン色の湯が有名なこの地にてビール造りをしています。私たちの使命は飲む人と人が「つながる」ビールをつくること。飲んで人達と月岡温泉が「つながる」きっかけをつくること。
●住所/新潟県新発田市月岡温泉552-111●電話/0254-28-9161●営業時間/10時~17時



ロケ地 三 雲洞庵 (うんとあん)

曹洞宗の寺院で約1,200有余年の歴史がある。室町時代永享年間上杉憲実公によって建立された本堂は、江戸時代宝永4年(1707)年に再建された。豪壮な木組みは深い積畳にも耐えられるように造られて、県の指定文化財になっている。劇中では新発田藩12代藩主 溝口直正が一時的に身を寄せる寺院として登場。暗闇の中蠟燭の灯る寺院内は荘厳。
●住所/南魚沼市雲洞660●開館時間/11月 9時~17時、12月~3月 9時30分~16時(受付は閉門30分前まで)●休館日/水曜日●拝観料/300円(2025年1月2日より500円に改定)

六 みなのマルシェピアBandai

新潟の特産品である米や酒、新鮮な魚、おいしい肉、お土産品などが揃う観光拠点施設。地魚が味わえる回転寿司、海鮮丼屋、カフェなどグルメも充実。萬代橋や朱鷺メッセなどの新潟の名所にも近く、アクセスも抜群。
●住所/新潟市中央区万代島2●電話/025-249-2560●営業時間/9時~21時
※各店舗により異なります。

七 新潟市歴史博物館みなとびあ

「郷土の水と人々のあゆみ」をテーマとした展示や体験、旧新潟税関庁舎をはじめとした明治から昭和初期の歴史的建造物など、情緒豊かな古くからの港町、水の都にいがたの歴史と文化が満喫できる。
●住所/新潟市中央区柳島町2丁目10番地●電話/025-225-6111●開館時間/9時30分~17時●休館日/月曜日(休日の場合は翌日)●入館料/300円(観覧券の販売は閉館30分前まで)



八 石油の里公園 石油の世界館

新潟県では古くから石油を産出しており、明治時代に入ると全国有数の産油県となった。特に、日本一の産油量を誇った新潟油田のある新潟市秋葉区は「石油の里」として知られる。石油資料展示室では、模型やパネルを使って、石油の歴史や採掘の技術などをわかりやすく展示。
●住所/新潟市秋葉区金津1172番地1●電話/0250-22-1400●開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで)●休館日/水曜日(11月は無休)・12月28日~1月3日

九 道の駅ながおか花火館

長岡花火が1年中楽しめる観光発信施設。大迫力の音と映像で長岡花火が楽しめるドームシアターをはじめ、こだわりの多彩なグルメが集まるフードコートやレストラン、長岡ならではの土産や特産品なども充実。観光案内所では季節に合わせた観光スポット、イベント情報を紹介している。
●住所/長岡市喜多町707番地●電話/0258-86-7766●開館時間/10時~17時30分
※各店舗により異なります。



十 長岡市郷土史料館

建物の姿は城を形どり、4階の展望台から長岡の市街地及び新潟平野が一望できる。館内は近世から近代にかけて長岡の文化の礎を築き、活躍した郷土出身の先人の業績とその人となりを紹介。
●住所/長岡市御山町80番地24悠久山公園●電話/0258-35-0185●開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで)●休館日/毎週月曜日、祝日の翌日(但し、土・日は開館)及び12月28日~1月4日●入館料/大人300円

十一 道の駅南魚沼 今泉記念館

雪国ならではの地域資源が集まる「人と情報の駅」として、「食・美術・歴史・自然」の4つのテーマで楽しめる情報ステーション。観光情報は1階にある南魚沼市観光協会へ。
●住所/南魚沼市下一日市855●電話/025-783-4500●開館時間/9時~17時